

## 学童大会における試合終了の時期の解釈

学童の各方面大会において競技運営(特に試合時間)に関する問い合わせが多いため、幾つかの事例を用意しましたので、審判員は基より事務局本部の運営統一化を図って下さい。ご協力お願い致します。

大会要項 (12)規則から抜粋

1. 試合時間は1時間30分とし、1時間15分を超えて新しいイニングに入らないこととする。

※大前提として裏の攻撃終了に1時間前後で新しいイニングに入る時には、審判員は双方のチームに、「試合時間が1時間近く(或るいは超えている)なので、長引くようであればこの回で終了することもあります。」と告知をしてください。(時間制限がある場合は告知のあるなしがトラブルの原因になりやすいです。)

ケース1

チーム	1	2	3	4	5	6	計
A	8	10					18
B	0	1					1

2回裏で1時間30分を超えた場合、正式試合は3回とあるが時間を超えた場合も試合が成立する(大会要項 12 規則④)ため2回裏で終了。

ケース2

チーム	1	2	3	4	5	6	計
A	1	2	2				5
B	3	1					4

3回表(勝)の攻撃中に1時間30分を超えた場合、3回裏までは行う。

ケース3

チーム	1	2	3	4	5	6	計
A	0	0	1				1
B	2	1					3

3回表(負)の攻撃中に1時間30分を超えた場合、3回表で終了。

※正式試合は3イニングなので、3回までは時間を過ぎても試合は行うこと。

## 延長戦の関係

### 大会要項 (13)規則から抜粋

最終回を終了して同点の場合は、タイブレーク方式を1回行い、なおも同点の場合は抽選とする。ただし、最終回を終了した時点で試合時間を超える場合は、即抽選とする。(タイブレーク方式は無死、1・2 塁から開始する)

※1 時間 15 分を超えて新しいイニングに入らないことから、時間により最終回が 5 回以前でも最終回となることがあります。例えば 4 回をもって最終回としたときに、裏の攻撃が終了し、同点の場合で、1 時間 30 分を経過していないときは、タイブレークを 1 回行います。

#### ケース1

チーム	1	2	3	4	5	6	計
A	0	0	2	1			3
B	0	0	1				1

4 回表(勝)の攻撃中に1時間30分を超えた場合、4 回裏までは行う。

#### ケース 1-2

チーム	1	2	3	4	5	6	計
A	0	0	2	1			3
B	0	0	1	2			3

ケース1から 4 回裏の攻撃で同点になった場合、時間を超えているので即抽選。

#### ケース 2

チーム	1	2	3	4	5	6	計
A	0	0	2	1			3
B	0	0	1	2			3

4 回裏終了時同点で1時間29分だった場合、タイブレークを1回行う。(無死 1・2 塁)

#### ケース3

チーム	1	2	3	4	5	6	計
A	0	0	2	1	1		4
B	0	0	1	2	1		4

タイブレーク後同点の場合、1時間30分経過しているので抽選。

#### ケース 4

チーム	1	2	3	4	5	6	計
A	0	0	2	0			2
B	0	0	3	1			4

B チームがリードの 4 回裏の B の攻撃中に時間(1時間15分)が経過した場合。

経過した時点で終了となるが、その時の打者の攻撃中にその旨を両チームに通告し、この打者が打撃を完了して試合終了とする。(1時間15分を過ぎて新しいイニングには入らないため。)